

息長小学校だより

息長っ子



令和7年3月18日
第 12 号
文責 川崎



<https://okinaga-e-maibara.edumap.jp/>

ご卒業 おめでとうございます。



3/18(火)に、来賓の皆様と合わせて多くの保護者にご臨席いただき、令和6年度卒業証書授与式を挙行了いたしました。35名の卒業生が多くの思い出を胸に、息長小学校を巣立っていきました。厳粛な中にも温かな雰囲気の中、素晴らしい卒業式で、卒業生の大きな返事、呼びかけの音が響き渡り、最後は力強い歌声で締めくくってくれました。

この1年間、最高学年として、すもう大会や運動会、息長フェスタなど多くの行事で常に全校の子どもたちの先頭に立ち、成功に導いてきました。下学年の子どもたちは、6年生の素晴らしい姿を見て、あこがれ、自分たちも見習い、息長小学校をさらによくしていこうと思ったことでしょう。

中学校でもこのよき仲間と切磋琢磨しながら、夢に向かって前進してほしいと願っています。保護者、地域の皆様、この6年間、卒業生を温かく、優しく支えてくださり、本当にありがとうございました。職員一同、心からお礼申し上げます。



卒業式「はなむけの言葉」より

門出に際し、皆さんに「美人」についてお話します。「美人」は「美しい人」と書きますが、では、「美しい人」とは何が美しいのでしょうか。きれいな服を着て、高価な宝石を身にまよえば、美しく見えるかもしれませんが、見た目の「美人」ではなくて、内面の「美人」について考えてみましょう。私は内面の「美人」とは、美しい字が書ける人、美しい絵が描ける人、美しい声で歌うことができる人、美しい音を奏でることができる人など、そういった人たちのことだと思っています。背筋をピンと伸ばした姿勢が美しい人も、美しい言葉でお話しができる人も「美人」になりますね。掃除や整理整頓が得意で、部屋をきれいにできる人もそうですし、優しく、友だちと仲よくできるなど、心の美しい人も「美人」といえます。

つまり、内面の「美人」とは、男女、子ども大人関係なく、得意なことや頑張っていることがあり、合わせて豊かな心のもち主だということです。そして、内面が美しくなると物事を肯定的にとらえ、自分に自信がもてるようになります。今、6年間の学びを終えようとしている皆さんには「美人」の要素がたくさんあり、「わたしはこういう美人です。」と胸を張ってもいいくらいですが、さらに、その美しさに磨きをかけてほしいと思います。ゆっくりと焦らず、時には休んだり、回り道をしたりしても大丈夫。必要ならば周りの人の助けも受け入れながら、「美人」になることを諦めないで進んでください。そして、たとえば、美しい音楽で人を元気にしたり、自分のもてる技術で人を喜ばせたりと、磨きかけた美しさで、誰かのために役に立てる人になってほしいと心から願っています。



2月27日 六年生を送る会



5年生が企画・運営を担い、盛大に催されました。各学年からは、お世話になった6年生のために、歌や呼びかけなどのパフォーマンスが披露されました。どの学年もすばらしい発表で、心がこもった贈り物（出し物）に6年生も大喜び、送る側も送られる側も、とても幸せで楽しい時間になりました。

3月4日 箏曲教室（2・4年）



喜田先生、武若先生をお迎えし、箏曲教室を行いました。まずは、喜田先生、武若先生、2年生担任の田中望叶先生が加わり、演奏をしてくださいました。2年生も4年生もうっとりとして聴き入っていました。4年生には、箏の歴史や箏の様々な部分の名前を教えてくださいました。また、演奏の仕方を学び、爪をつけて、実際に音を出してみました。「♪さくら～さくら～ ♪のやまも さとも～ ♪みわたす かぎり～」と教科書に載っている「さくらさくら」を演奏しました。琴の音が響き、雅（みやび）な雰囲気を楽しむこともできました。

3月7日 伊吹山の現状を学ぶ（4・5年）



伊吹山の現状について、高橋先生教えてくださいました。伊吹山の映像を見たり、お話を聞いたりする中で、自然の脅威を知り、伊吹山を守るために自分にできることは何か考えるきっかけとなりました。

ありがとうございました

学校だより「息長っ子」が今年度最終号になりました。今年度も各字自治会長様にお世話になり回覧をしていただき、おかげで多くの方に読んでいただくことができました。ありがとうございました。

地域や保護者の皆様には、この1年間、息長小学校に対して、温かいご支援をいただき、教職員一同心から感謝申し上げます。次年度も「地域とともにある学校づくり」に向けて、誠心誠意努力する所存です。今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。